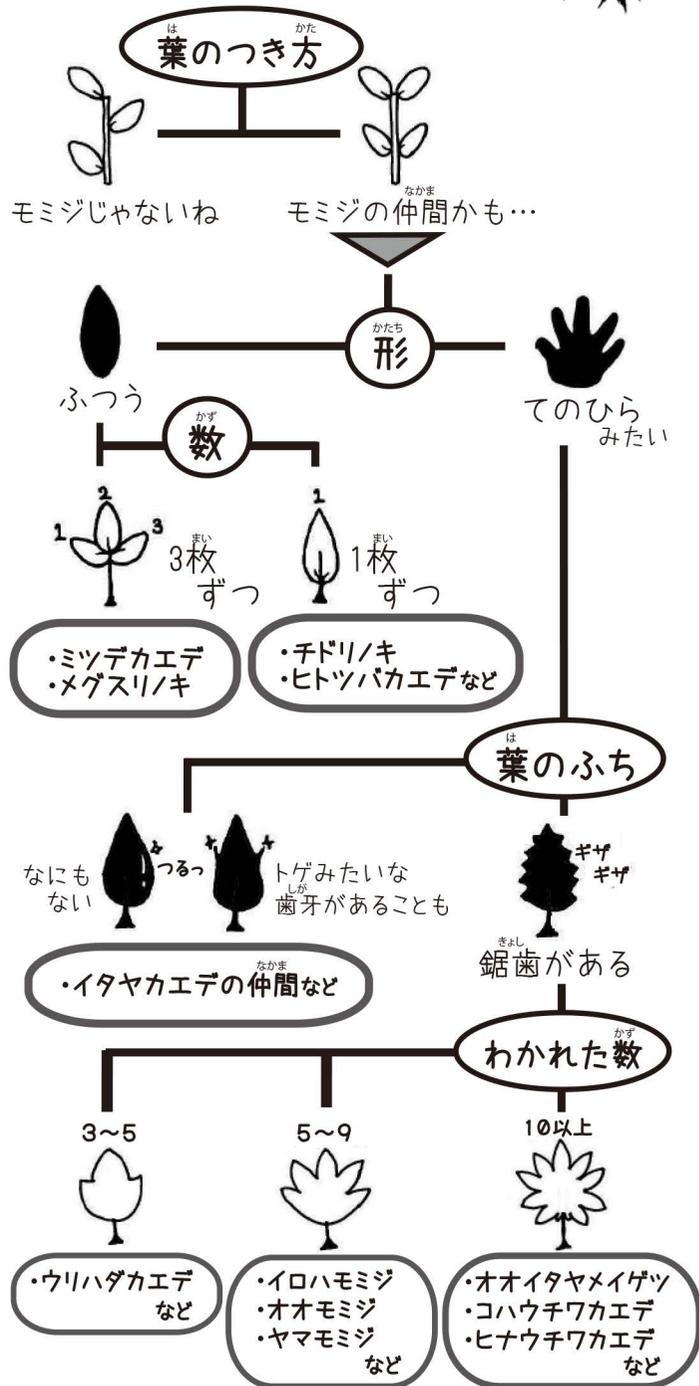


かんたん葉っぱみわけ



モミジ豆知識

・モミジとカエデ

モミジとはカエデの中でも紅色の目立つ特定の種類のこ。つまり、カエデのほんの一部。

・名前の由来

カエデ…カエルの手に似ている形から
カエル手⇒カエ手⇒カエデ
モミジ…草木が揉みだされるように色づくことを「もみづ」と呼んでいた。それが名詞の「もみち」となり変化した。
もみづ⇒もみち⇒もみぢ⇒もみじ

・紅葉(こうよう)

葉が色づくことの総称。主に葉が紅くなることをさす。イチヨウのように黄色くなるのは黄葉(こうよう)と書くことがある。

・もみじ狩り

狩りとは「食べる」ことを目的とすることだが、もみじ狩りの場合は「鑑賞」を目的としている。ちなみに花見は昔、桜狩りと言われていた。

出典: 語源由来辞典 <http://gogen-allguide.com>

世田谷区立 二子玉川公園ビジターセンター

〒158-0094 東京都世田谷区玉川1-16-1
tel.(03)3700-2735 fax.(03)6805-7591
開館時間 8:30-17:00 (年末年始は休館)
<https://www.ces-net.jp/futako-tamagawa-park/>

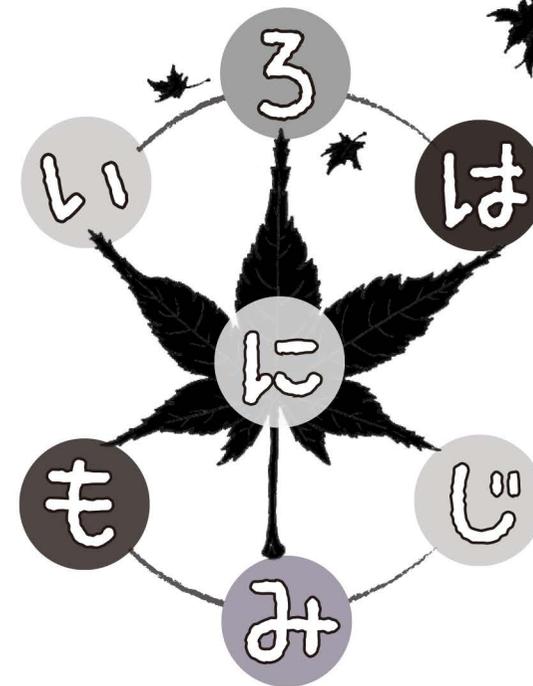


発行: 2016年2月

Futapa

Futako Tamagawa Park Self guide

セルフガイド 第12号



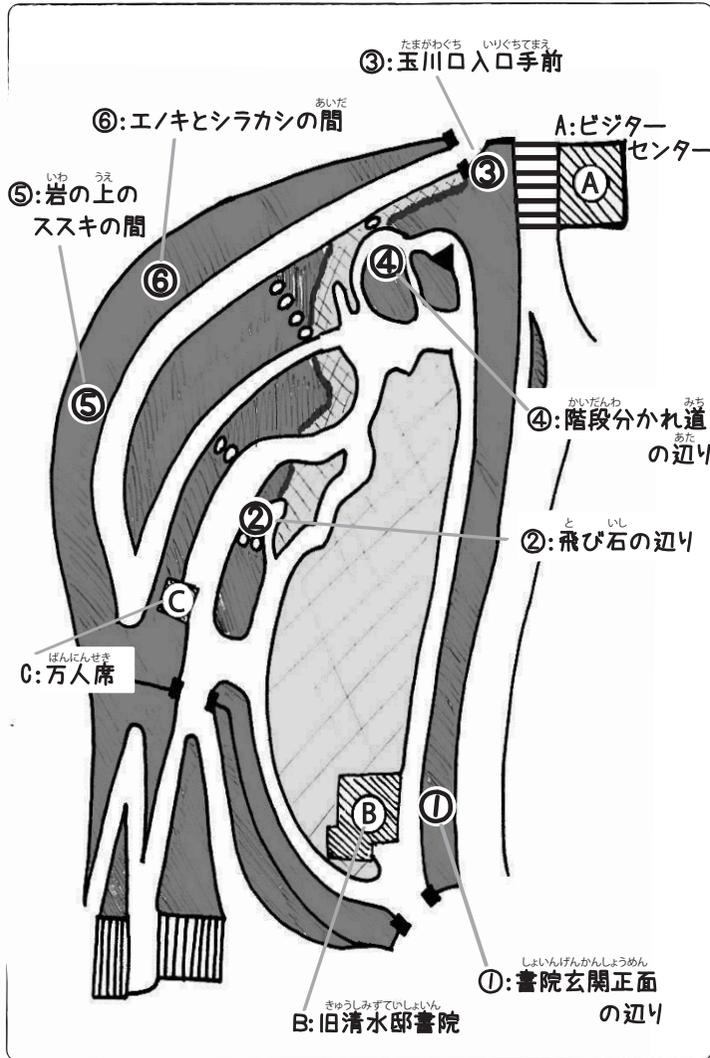
モミジはどこでみられるのか?

⇒どんな種類があるのか?

⇒葉から始まるモミジのみわけ方をご紹介します!

▶▶モミジを探しに帰真園へ出かけよう。

きしんえん
帰真園モミジさがしマップ



帰真園のモミジ



～おなじみのモミジ～

①イロハモミジ

は葉のわかれた部分の数をイロハニホヘトと数えたのが由来といわれている。



～大きな手みたいな形～

②オオイタヤマゲツ

板屋根のように雨宿りできるくらい枝葉が密で、丸い葉を明月(満月のこと)に例えたとされている。



～テングのうちの見える～

③エンコウカエデ

猿の手の甲に似ているからこの名前がついたといわれている。別名イタヤカエデと呼ばれる。



～幹がああの野菜に見える?～

④ウリハダカエデ

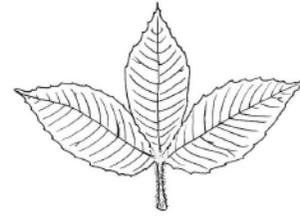
ふっくらした葉は切れ込みのない葉も存在する。木の幹はまるでウリみたいなたてじまで緑色。



～3枚にわかれたモミジ～

⑤メグスリノキ

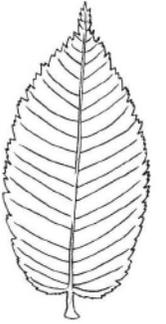
3枚の小葉からなる葉。昔は幹を目薬の材料にしていたといわれている。



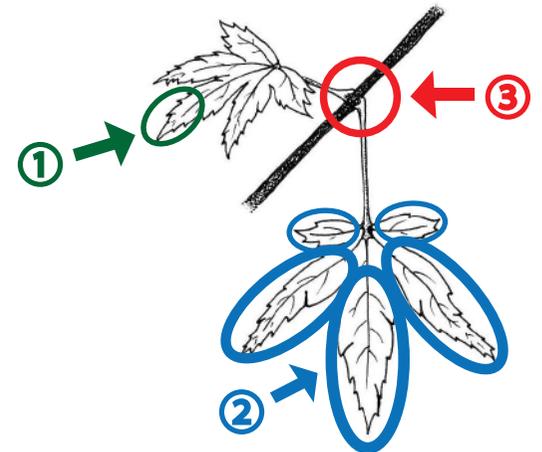
～葉脈がキレイに並ぶ～

⑥チドリノキ

よく似た葉を持つ木とのみわけ方は葉のつき方が対生であるところ。チドリという鳥の足に種が似ているのが由来。



モミジの葉の特徴



- ①鋸歯(ギザギザ)の形がいろいろ
- ②裂片(裂けた葉の部分)ができて手の形
- ③モミジの仲間は必ず対生(葉が対称的につく)

これって、モミジ?



なかで紹介